

## 令和6年度三田市高校生議会 質 問 書

**【質 問 者】** 13番 クラーク記念国際高等学校 2年 齋藤 詠空（さいとう えいく）

**【担 当 課】** 子ども・未来部 子ども育成課

**【答弁予定者】** 子ども・未来部長

**【質問事項】** 不登校も含むすべての子どもがつながる場所をつくることについて

### 【質問内容】

13番 高校生議員のクラーク記念国際高等学校2年の齋藤 詠空です。

私は中学生の頃、学校で自分の居場所が見つからず孤立を感じた経験があります。この経験から、同じように居場所がない子どもたちを少しでも減らしたいと思い、今回のテーマを選びました。

現在の三田市には、不登校の子どもや学校外でつながりを求める子どもたちが自由に集まり、自分の役割や価値を見出せるような「居場所」としての場が少ないように感じます。また、三田市は豊かな自然に恵まれています。子どもたちがその自然環境を活用して活動できる場所が少ないため、この環境をもっと活かすべきだと思っています。

私は三田市が主体となり、豊かな自然環境を活かした「子どもたちの秘密基地」のような場所を作りたいと考えています。この「秘密基地」は、すべての子どもたちが自由に訪れ、自分の役割や価値を見出し、楽しく活動できる場所

にしたいと思っています。具体的には1、自然を活かした「秘密基地」の設置。三田市の自然豊かな場所に子どもたちの秘密基地を作ります。この場所では、子どもたちが自然の中で過ごすことでリフレッシュし、安心して集まれるようにします。2、子どもたちの役割。「秘密基地」内で子どもたちがそれぞれ「役割」を持ち、例えば「基地の管理人」や「案内役」など、子どもたち自身が自分の役割を見つけて活動できる場を作ります。職業などがあっても面白いかもしれません。自分の役割を持つことで、自己肯定感が高まり、自分の居場所を実感できます。3、活動内容の自主性。「秘密基地」の活動内容は、子どもたちが主体的に考え、計画して進められるようにしたいと思っています。子どもたちが自由に考え、協力して他の仲間と共通の目標を持って活動できるようにすれば、より深く関われると思います。

このような秘密基地があれば、不登校の子どもや居場所がない子どもたちが集まり、地域の自然や他の子どもたちとつながる機会が生まれます。子どもたちが自然の中で活動することで、心が癒され、自己肯定感が高まると同時に、不登校の数も減少すると思います。また、三田市の豊かな自然環境を活かした取り組みにも繋がります。

こうした「自然を活かした子どもの居場所づくり」について、三田市の考えをお聞かせください。

---

#### 【答 弁 内 容】

私からは、議員ご質問の「不登校も含むすべての子どもがつながる場所をつ

くることについて」お答えいたします。

議員も評価されているとおり、豊かな自然環境に恵まれていることは、本市の大きな魅力の一つです。この魅力を市内外にどのように発信していくか、どのように活用していくかは、本市にとって非常に意味のある取り組みです。

さて、議員からは、その活用方策として、「子どもの居場所づくり」をご提案いただきました。ご自身の経験から、学校外での子どもたちのつながり、それを実現する居場所の必要性について、強く実感されているものと受け止めました。

ご提案にあります「秘密基地」という言葉からは「特別な」、「自分たちの」、といったわくわくする響きが感じられます。そこに集う児童・生徒が、役割を持ち、主体的に活動内容を計画すれば、まさに「自分の居場所」となると思います。

そこで、これを実現するために必要なもの、市の関わり方を考えてみたいと思います。まず、「場所」が必要です。市が所有する自然環境に恵まれた場所といえば、青野ダム、千丈寺湖周辺など農村地域にある公園でしょうか。また、「基地」ということであれば、建物が必要になります。公園の利用に関しては、ルールがありますので、その枠組みの中で対応していくことになります。建物に関しては、新たに建築するには一定の投資が必要になります。

そうした点を踏まえると、まずは「秘密基地」というコンセプトを具体化するコンテンツを考える、いわゆるソフト面からのアプローチが有効ではない

でしょうか。

市内には、学習サポートを実施している団体や、趣味などのサブカルチャーを通じて交流している団体など、個々のニーズや主体性を大切にした居場所づくりを提供している様々な支援団体があります。そのほか、地域の子どもや大人との交流、学習支援を通じて放課後の子どもの居場所づくりを推進している「放課後子ども教室」もあります。

議員がお考えの活動を具体化するために、様々なひととアイデアを出し合う場への参加について、市としても積極的にマッチングさせていただきたいと考えますので、議員のご理解を賜りますようお願いいたします。